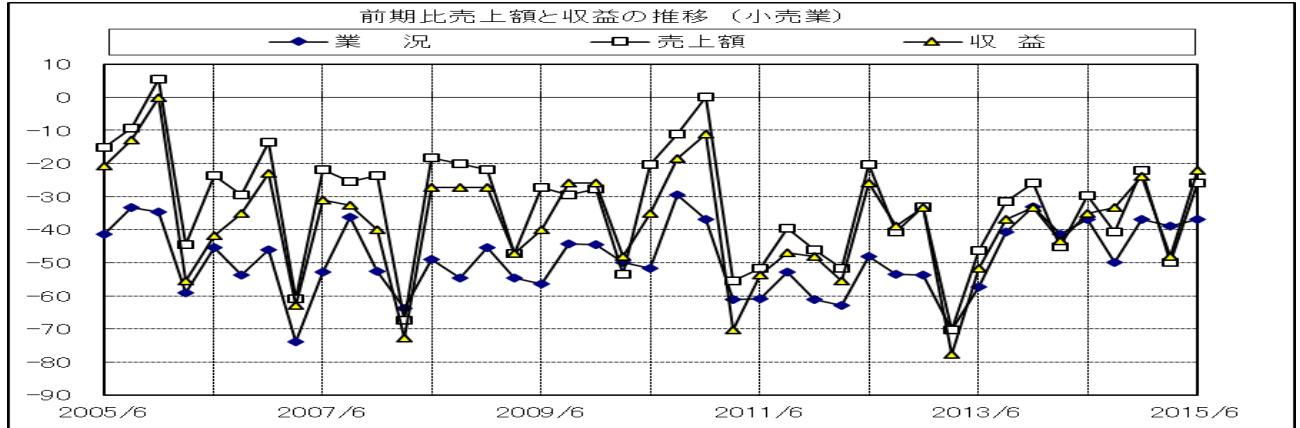


# 小売業 54企業 (回答率 100%) の調査結果です

## □ 景況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業況	-37.0	-38.9	-37.0	-35.1
売上額	-22.2	-49.9	-25.9	-13.0
収益	-24.0	-48.1	-22.2	-16.7

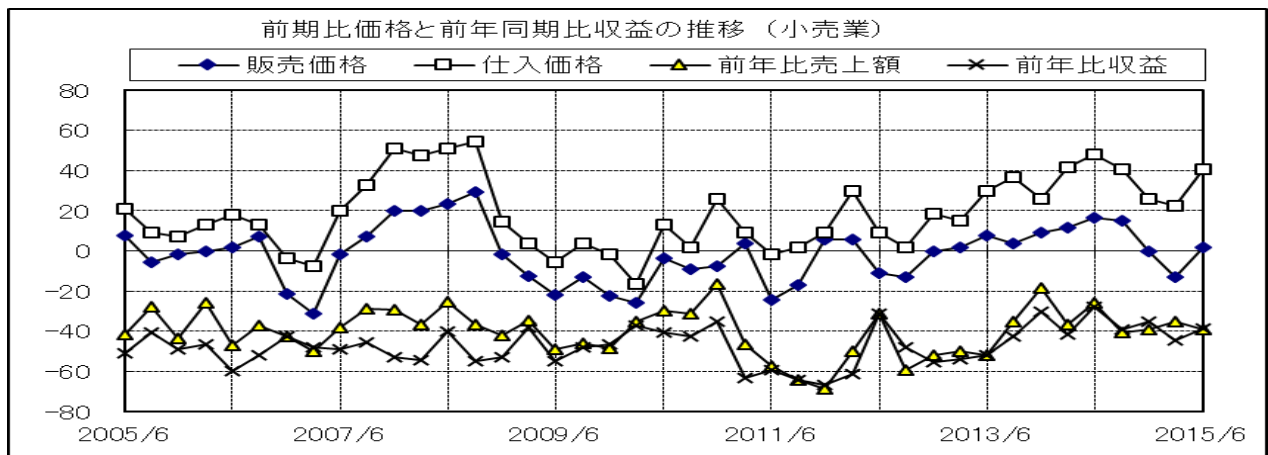
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 37.0$ と、前期比 1.9 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、広尾、静内、三石、浦河、様似・えりもが同水準で続いた。業況判断 D. I. は、前年 ( $\Delta 37.0$ ) と同水準となった。売上額判断 D. I. は $\Delta 25.9$ と、前期比 24.0 ポイントマイナス幅が縮小。収益判断 D. I. も $\Delta 22.2$ と、前期比 25.9 ポイントマイナス幅が縮小した。



## □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	0.0	-13.0	1.9	12.9
仕入価格	25.9	22.2	40.7	33.3

販売価格判断 D. I. は 1.9 と前期比 14.9 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 40.7 と前期比 18.5 ポイント上昇、価格上昇基調を強めた。販売価格は前年 (16.7) 比で 14.8 ポイント下降。仕入価格も前年 (48.1) 比 7.4 ポイント下降した。業種別には衣料品は販売価格・仕入価格ともに上昇。食料品は販売価格が横ばいで仕入価格は上昇。家電品は販売価格、仕入価格ともに下降した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	-7.5	-3.7	-5.5	-9.3
人手状況	-16.6	-11.1	-13.0	-18.5

残業時間判断 D. I. は $\Delta 5.5$ と、前期比 1.8 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 13.0$ と、前期比 1.9 ポイント下降し、人手不足感が強まった。

## □ 設備投資の動き

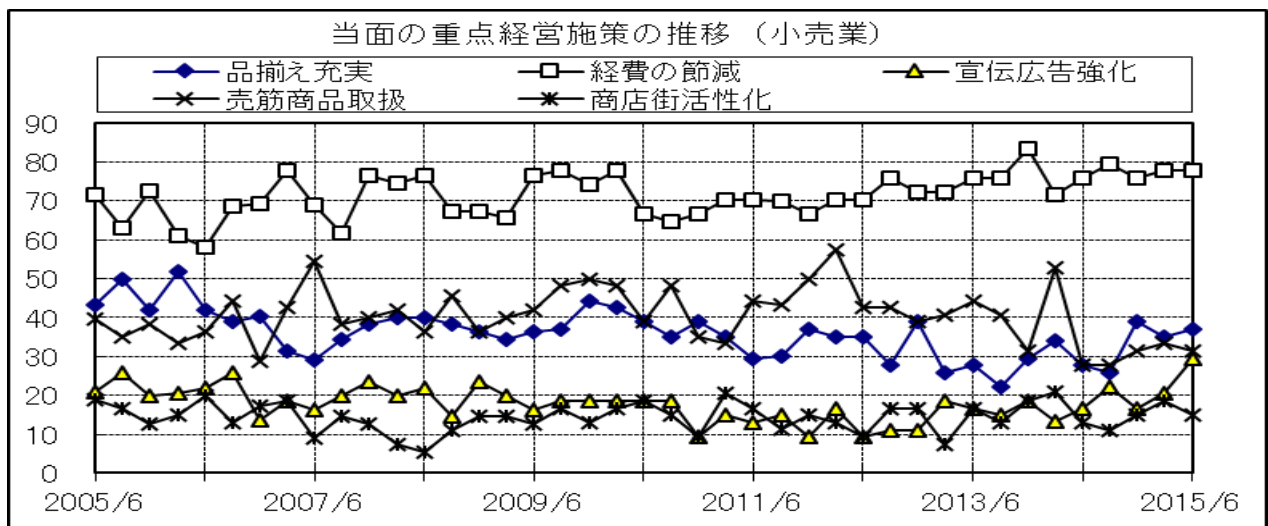
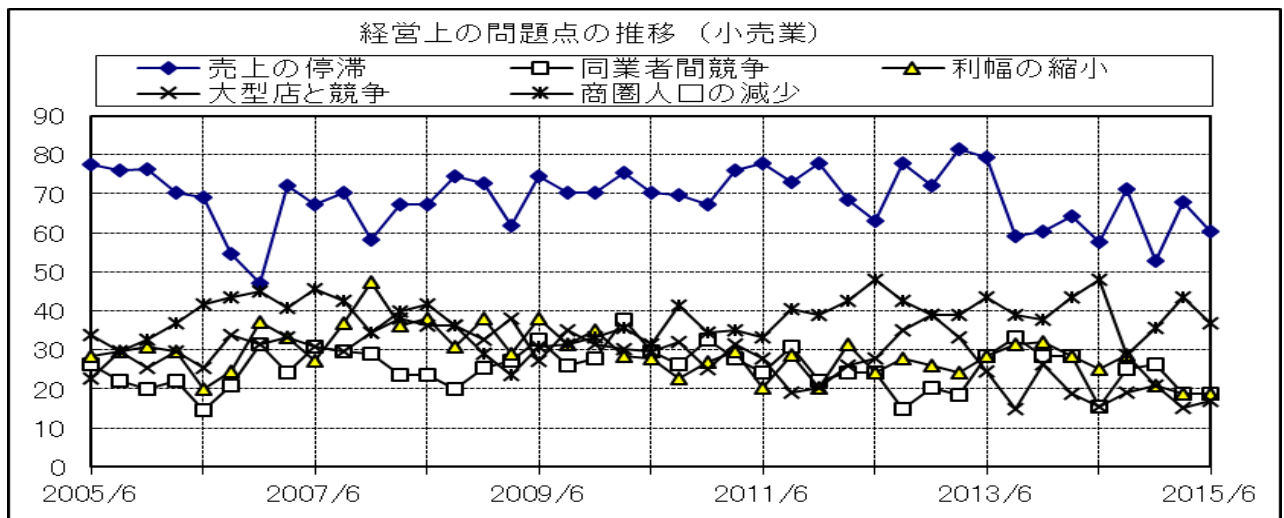
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 9.3$ と、前期比1.8ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は3.7で、前期比7.4ポイント下降、前期の6件に対し2件の実施となった。来期の設備投資の予定は5件となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ60.4%、次に「商圈人口の減少」が37.7%、「値上げの要請」22.6%、「同業者との競合」・「利幅の縮小」が同率の18.9%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ77.8%、次に「品揃えを改善する」37.0%、「売れ筋商品取扱い」が31.5%で続き、「宣伝広告を強化」は29.6%となった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 35.1$ と、今期比1.9ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 13.0$ と、今期比12.9ポイントの上昇を見通している

予想収益判断D. I. は $\Delta 16.7$ と、今期比5.5ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は12.9と、今期比11.0ポイントの上昇を見通している。

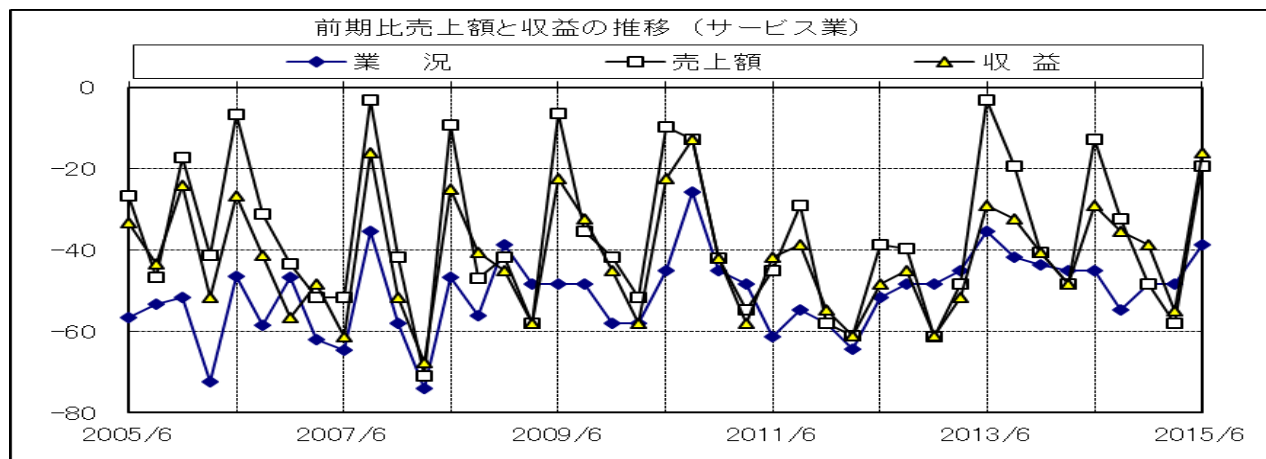
予想仕入価格判断D. I. は33.3と、今期比7.4ポイントの下降を見通している。

## サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-48.4	-48.4	-38.7	-29.0
売上額	-48.4	-58.1	-19.4	-38.7
収 益	-38.7	-54.9	-16.2	-42.0

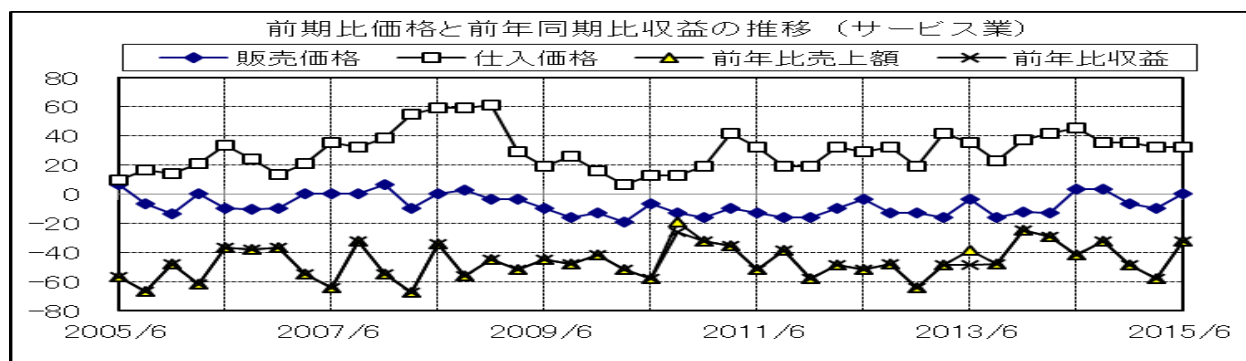
今期の業況判断 D. I. は△38.7 と、前期比 9.7ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、浦河、静内・様似が同水準、次にえりも・三石が同水準、広尾の順となった。前年（△45.1）比では 6.4 ポイントの上昇となった。売上額判断 D. I. △19.4、収益判断 D. I. △16.2 は前期比ともに 38.7 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
料金価格	-6.5	-9.7	0.0	-16.1
材料価格	35.5	32.3	32.2	12.9

料金価格判断 D. I. はゼロ水準で前期比 9.7ポイント上昇した。材料価格判断 D. I. は 32.2 と前期比ほぼ横ばいの水準。業種別にみると洗濯理容業は、料金価格が下降、材料価格は上昇。自動車整備業は、料金価格、材料価格ともに横ばい。旅館業では料金価格が上昇、材料価格は横ばいとなった。料金価格は前年（3.3）比で 3.3 ポイント下降、材料価格は前年（45.2）比 13.0 ポイント下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-19.4	-25.9	-9.7	-16.2
人手状況	-9.7	-6.4	-12.9	-19.4

残業時間判断 D. I. は△9.7 と、前期比 16.2ポイント上昇、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

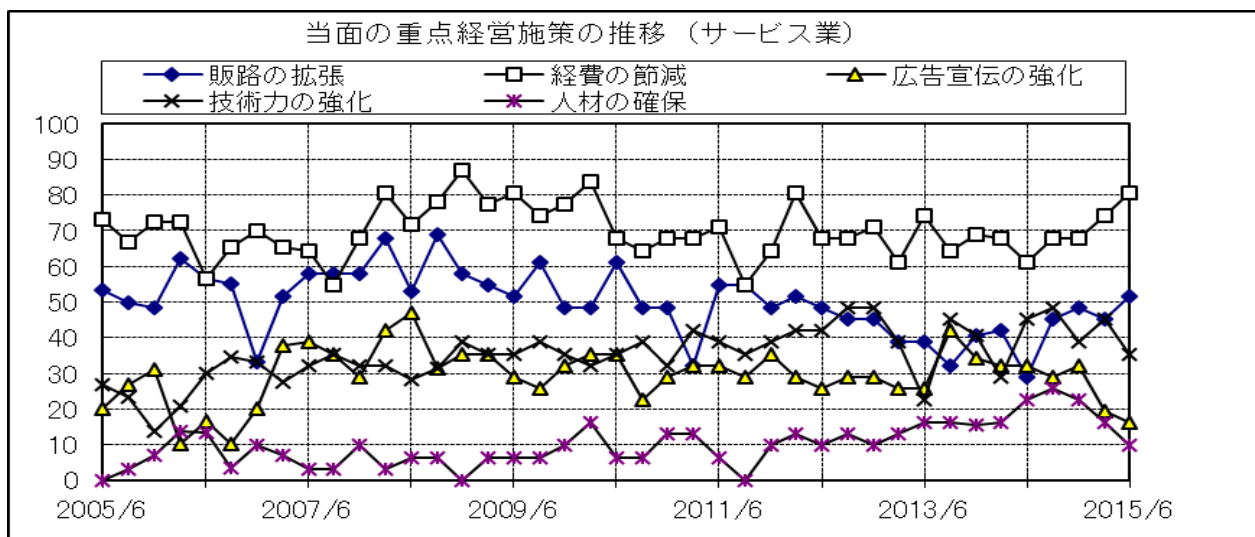
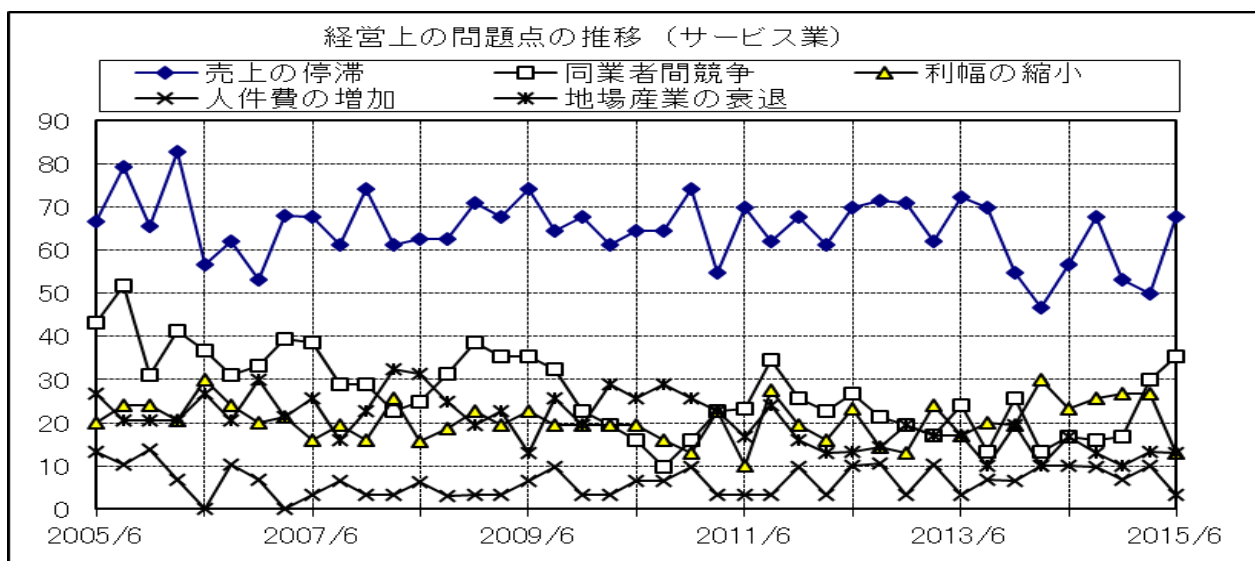
人手過不足判断 D. I. は△12.9 と、前期比 6.5ポイント上昇し人手不足感は強まった。

## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 12.9$ と、前期比3.2ポイント下降し不足感は強まった。設備投資実施企業割合は16.1で前期比3.3ポイント下降。前期6社の実施に対し、5社の実施となった。来期の設備投資は、6社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ67.7%、次いで「同業者との競合」・「商圈人口の減少」が同率の35.5%、「材料価格の上昇」16.1%、「利幅の縮小」・「大手企業との競合」・「地場産業の衰退」が同率の12.9%となっている。重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ80.6%、次いで「販路を広げる」51.6%、「技術力を強化する」が35.5%となっている。宣伝広告の強化16.1%、「提携先を見つける」12.9%と続いている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 29.0$ と、今期比9.7ポイントの上昇を見通している。  
 予想売上額判断D. I. は $\Delta 38.7$ と、今期比19.3ポイントの下降を見通している。  
 予想収益判断D. I. は $\Delta 42.0$ と、今期比25.8ポイントの下降を見通している。  
 予想料金価格判断D. I. は $\Delta 16.1$ と、今期比16.1ポイントの下降を見通している。  
 予想材料価格判断D. I. は $\Delta 12.9$ と、今期比19.3ポイントの下降を見通している。